

サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	3	6
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズの把握については、「365日子ども会議」として、職員が日常的に利用者とは話をすることにより、何気ない会話の中から、利用者の感じている事柄を引き出し、常にニーズを把握できる仕組みができています。 特別な配慮を必要とする利用者への対応については、障害の有無にかかわらず、全ての子どもが成長発達に応じた支援が必要との認識に立ち、障害だけではなく、LGBTの問題にも焦点をあて、子どもたちの個性に応じた支援を寄り添った形で行っている。 学校及び行政機関等との連携については、「すがお手つなぎまつり」の実施にあたり、地域の公的子育て機関である、地域子育てセンター、保育園、区役所、地域教育会議と連携して実施している。 平成28年度には、新たに重症心身障害児の親の会である「ほっとびあ」などとの連携を図るなど、様々な地域団体との連携の拡充に向けた取組がなされており、参加者も天候が良かった平成26年度の1,100人から1,300人の参加に増えている。 施設・事業の広報については、こども文化センターたよりやわくわくプラザたよりを作成するとともに、広報紙「ひまわり」を自治会を通じて回覧を行い、大人向けに周知している。 また、Facebookで情報発信することで、タイムリーに気軽に見ることができると、特に若い世代から好評を得ている。 運営協議会や保護者懇談会は、定期的の実施している。 					
組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされているとともに、特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置ができています。 職員の研修体制においては、現在、社会的に課題となっていて身近に実在するLGBTを取り上げ取組を実施するとともに、研修終了後には、各施設のスタッフが反芻できる仕組みがある。 個人情報の取扱については、法人において個人情報保護方針を定めており、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。 また個人情報の漏洩の事実はなかった。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	3	3
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	4	4
災害発生時に備えた対応が図られているか。					
災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の管理については、利用者が安心してできるよう、開館前に職員が、毎日、建物内及び敷地内の設備について、直接点検を行っており、安全について高い意識を持っているとともに、館だけではなく、地域の方々の協力を得ながら、地域が一体となって、子供たちが安全に遊ぶことができる環境整備が行われている。 利用者の安全確保については、「緊急時のマニュアル」、「衛生管理マニュアル」に基づいて対応している。 特に、飲食を提供する事業については、申し込み時に「アレルギー」の有無について把握をし、その後保護者と十分に話をし、原材料を工夫したメニューを作って対応している。 防犯対策及び災害時の対応については、「災害発生時対応マニュアル」に基づいて対応している。 また、防災訓練については、館で実施しているとともに、小学校単位で実施されている地域の防災訓練にも、地元の自治会などと共に参加している。 					

収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	4	4
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
(評価の理由) ・会計処理・金銭処理については、法人の規定に基づき適正に行われていた。 ・効率的・効果的な支出については、電気の使用に際し、電力の自由化の制度を活用し、競争性を担保したことで、積極的な経費の節減に努めている。					

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

菅生こども文化センターを単なるこどもたち遊びや居場所とするだけではなく、中高生や子育て世代の方々の悩みを相談できる場所、また多くの地域住民が、世代に関係なく、参加できる行事を通じて、地域の拠点的な施設として機能させていることを評価する。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後とも、一人ひとりの子どもたちに寄り添った事業を展開するとともに、地域資源を活かして、地域連携を強化しながら、より一層の地域に根ざした魅力ある施設として運営することを期待する。